

5. 圧延材の品質計測 座長 吉 谷 豊
 ポスターセッション 今年より春季講演大会にポスターセッションを開催することとなり、その第1回が開催された。工学部5号館に9ブースがもうけられ、2日間に亘り27件の講演が行なわれた。

懇親会 4月5日午後6時より神田学士会館で開催された。松下新副会長司会のもと両会新旧会長の挨拶に始まり、各地から参集した会員諸氏の間で歓談がくりひろ

げられた。

ジュニアパーティー 4月4日午後5時30分より東京大学山上会議所で開催された。参加者は150名にのぼり、参加者中より日本鋼管技研北川融氏、東工大川上正博氏に司会を依頼し、郡司講演大会分科会主査の乾杯の音頭で始められた。若手技術者、研究者を中心に自由に懇談がなされ、親交を深めた。

書 評

長谷川熊彦著：わが国古代製鉄と日本刀

本書は、われわれ製鉄に従事する研究者、技術者の大先輩長谷川熊彦先生の労作である。まず驚くのは、何といつても94才という高令の方がこれだけの力作をまとめられた事実である。

その内容は、的場幸雄先生の“序”に始まり“著者のことば”があつて、本文は表題の“わが国古代製鉄”と“日本刀”がⅠ、Ⅱ編を構成している。読者は本文に入る前に、まず巻末の総括を読まれたら如何かと思う。それには、著者の技術者としてまた教育者としての70年が凝縮されている。さらに、著者の基本的な姿勢すなわち日本民族への愛、祖先への感謝、若い世代への期待感がにじみ出ている。

“著者のことば”にいわく、“…自由に読書し、自由に運動する便を得たので考古学を学び、砂鉄を学び、古代製鉄を学ぶ機会に恵まれた。…”と。本書は文献の単なる集録でなく、著者が自ら全国を踏査して消化しつくされた知識の集約である。

(松下 幸雄)

発行年月 昭和52年12月 発行所 技術書院 定価 2500 円

昭和 51 年度「鉄鋼生産設備能力算定方式」(分冊 6 編) の 有償頒布について

1. 編集内容

各編とも前版に準じて大体次のように編集されております。

- 1) 算定式適用に際しての基本的条件
- 2) 算定式使用要領
- 3) 能力算定式および諸係数
- 4) 算定式の解説
- 5) 能力算定式に必要な操業諸調査票の様式
- 6) 計算例
- 7) 簡略式
- 8) あとがき

2. 頒布価格

- (1) 製鉄編 (34頁)250 円
 - ①高炉鉄、②フェロアロイ各生産設備
- (2) 製鋼編 (114頁)650 円
 - ①転炉、②平炉、③電気炉、④連続铸造、各生産設備
- (3) 鋼板編 (358頁)1,250 円
 - ①分塊、②厚板、③ホットストリップ、④コールドストリップ、各生産設備

3. 申込方法

書名、部数、送付先を明記のうえ代金を添え現金書留にてお申込み下さい。
 なお、全6編の場合4,800 円となります。

4. 申込先

〒100 東京都千代田区大手町 1-9-4 経団連会館3階
 日本鉄鋼協会 技術部 吉野谷 電話 (03) 279-6021

- (4) 条鋼編 (188頁)850円
 - ①大形、②中小形、③線材、各生産設備
- (5) 鋼管編 (295頁)1,150 円
 - ①継目無鋼管生産設備
 - (イ) マンネスマンプラグミル法
 - (ロ) “ ” マンドレルミル法
 - (ハ) “ ” ピルガーミル法
 - (ニ) “ ” アッセルミル法
 - (ホ) ユジーンセルジュルネミル法
 - (ヘ) エルハルトプツシュペンチミル法
 - ②溶接鋼管生産設備
 - (イ) 電縫鋼管
 - (ロ) 鍛接鋼管
 - (ハ) UOE CONTINUOUS FORMING 溶接鋼管
 - (ニ) スパイラル溶接鋼管
- (6) 連続加熱炉編 (121頁)650 円
 厚板用、熱延用、大形用、中小形用、線材用、継目無管用、分塊用、鍛接鋼管用